

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事の入札に対する質問への回答（8月8日掲載④）

No.	図面番号	質問	回答
		(構造関係)	
1	S-14 S-33	基礎伏図に於いて a2通り-b9通りの 柱C13 に柱脚金物 HSB-ICS-20kN の記載が御座います。確認となりますが、この部分の柱C13の柱脚の詳細は柱脚-東石詳細図 C12C GIR納まり詳細 に倣うものと考えて宜しいでしょうか。	よい。
2	S-09	木造工事補足事項2 9.14アンカーボルトに於いて 土台固定用アンカーボルトの仕様は下記のとおりと考えて宜しいでしょうか。 土台固定用アンカーボルト L型アンカー M12 L=380以上 座金 ナット共	製品長さは余長や天端の接合方法により必要長さが相違するため、受注者にて選定してよい。
		(外部仕上関係)	
3	A-32 S-19	矩形図(4)と構造図でエントランス部の垂木の部材寸法が相違しています。構造図を正と考えて宜しいでしょうか。 ・矩形図(4) : 45×90 ・構造図 : 45×60(正)	よい。
4	A-30	下記の金属屋根の軒先の詳細がありません。矩形図(2)休憩スペース縁側に倣って宜しいでしょうか。 ・倉庫1-3屋根 ・中央エントランス屋根 ・ポーチ1底(中央エントランス)	よい。
5	A-30	また、上記屋根のケラバについて、詳細がありません。ケラバ納まりを下記のように考えて宜しいでしょうか。 ・淀:杉55×120+ケラバ板:杉 30×91 (広小舞は無しと考えて良いでしょうか。)	よい。
6	A-30	矩形図の無い下記範囲(金属屋根)の軒天(屋根裏天井)について、納まり・仕様(樹種・小舞のピッチ等)を矩形図(2)休憩室南側に倣って宜しいでしょうか。 ・中央エントランス屋根 ・倉庫1-3屋根	よい。
7	A-24	天井伏図において、ポーチ1底に『化粧天井野路板』とありますが詳細がありません。詳細及び樹種を御指示下さい。	ポーチ屋根裏天井と同様 (A32参照) 化粧野地板: ヒノキt15(本実加工10×10) W300)、合板t12
8	A-24 A-30	また、ポーチ1底の軒天の仕様を除き軒先の納まりは納まり・仕様を矩形図(2)休憩室南側に倣って宜しいでしょうか。	よい。
9	A-32	エントランス部 金属屋根のケラバ納まり(木工含め)について詳細が見当たりません。軒先に倣い下記のように考えて宜しいでしょうか。 ・淀:杉 30×135+ケラバ板:杉30×135 (広小舞は無しと考えて良いでしょうか。)	よい。
10	S-33	中央エントランスの底について、構造図において柱部東石がGIR納まり(C12C)となっています。中央エントランスの底の柱足元の仕上の納まりを御指示下さい。	RC化粧打放し200×200程度

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事の入札に対する質問への回答（8月8日掲載④）

No.	図 面 番 号	質 問	回 答						
11	A-62	部分詳細図(7)【御車寄】において、垂木の小口に『胡粉塗装』の指示がありますが、御車寄以外の垂木小口にも胡粉塗装は必要でしょうか。必要な範囲をご指示下さい。	不要である。						
12	A-30	休憩室縁側上部の瓦屋根軒先の面戸木について部材寸法・仕上を下記のように考えて宜しいでしょうか。 ・杉 t=20 H=120 + 木材保護塗料	よい。						
13	A-32 A-33	エントランス部軒天(天井)について下記のように相違しています。断面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。 ・矩形図:化粧野地板 t/t15w300 本実加工10×10 ・断面詳細図:化粧野地板 s/t15w300 本実加工10×10 …(正) (屋外・屋内で仕様を変えるのでしょうか)	矩計図を正とする。						
14	A-30	矩形図(2)の天井伏図において、休憩所南側(縁側)の屋根裏天井の小舞のピッチが表記(@200程度)と図示(@330程度)で相違しています。表記@200程度を正と考えて宜しいでしょうか。	よい。						
15	A-31	矩形図(3)において、御座所(縁側)の屋根裏天井の小舞のピッチが断面詳細図(@150)と天井伏図(@327.3)で相違しています。断面詳細図(小舞@150)を正と考えて宜しいでしょうか。	よい。						
16	A-32 A-60	エントランス部壁見切(桁部)の樹種が矩形図(桧 75×60)と部分詳細図(5)(杉 75×65)で相違しています。矩形図(桧 75×60)を正と考えて宜しいでしょうか。	よい。						
17	A-60	また、部分詳細図(5)において、エントランス自動ドア廻りの各種見切(AD上部・側部・付長押・付鴨居)の樹種に杉とあります。確認となりますが杉材で宜しいでしょうか。 (各図での相違はありません)	図のとおり。						
18	A-01 A-56 A-58	各階段の踏石の仕様が特記仕様書と部分詳細図で下記のように相違しています。部分詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。 <table><tr><td>特記仕様書</td><td>部分詳細図</td></tr><tr><td>・階段4 安山岩 水磨(鉄平石)</td><td>花崗岩 水磨(稲田石)</td></tr><tr><td>・階段1-3 “</td><td>花崗岩 割肌(白御影)</td></tr></table>	特記仕様書	部分詳細図	・階段4 安山岩 水磨(鉄平石)	花崗岩 水磨(稲田石)	・階段1-3 “	花崗岩 割肌(白御影)	よい。
特記仕様書	部分詳細図								
・階段4 安山岩 水磨(鉄平石)	花崗岩 水磨(稲田石)								
・階段1-3 “	花崗岩 割肌(白御影)								
19	A-18 A-62	軒樋など下記の項目の板厚が屋根伏図凡例(t=1.2)と部分詳細図(t=0.5)で相違しています。屋根伏図(t=1.2)を正と考えて宜しいでしょうか。 ・軒樋A・B ・集水箱樋A・B ・這樋 ・呼び樋	よい。						
20	A-20	立面図でホーチ2庇(中央エントランス)は『銅板(一文字葺)2』とありますが、外部～外部となり本体屋根からも独立しているため、屋根の断熱材(吹付t10・敷込t60)は不要と考えて宜しいでしょうか。	よい。						

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事の入札に対する質問への回答（8月8日掲載④）

No.	図面番号	質問	回答
21	A29～32 A-54	白漆喰の納まりが矩形図と部分詳細図で相違しています。矩形図を正と考えて宜しいでしょうか。 ・矩形図：本漆喰（下地含む）t10+ ラップボード t9+防水シート+構造用合板 ・部分詳細図：白漆喰t20+亀裂防止ネット +防水シート+構造用合板	よい。
22	A-01	礎石の石種が特記仕様書（花崗岩：稲田石同等）と構造図（安山岩：鉄平石同等）で相違しています。構造図を正と考えて宜しいでしょうか。	特記仕様書を正とする。
		（内部仕上関係）	
23	A-16・25～28・54	外壁側の壁の仕様について、壁詳細図/外壁と平面詳細図/壁下地凡例及び仕上表で相違しています。平面詳細図/壁下地凡例及び仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。 壁詳細図：合板面に仕上 平面詳細図及び仕上表 ：合板面に石膏ボード/ケイカル板 の上に仕上 【正】	よい。
24	A-26・39 M-03	多機能トイレのコーキング（ケシク ー壁取合）の仕様について、下記と考えて宜しいでしょうか。 ・シリコン系 10×10（SR-1）防カビ	よい。
25	A-06 A-32	壁 硬質ウレタンフォームについて、特記仕様書で「A種I又はA種IH」と記載されていますが、A種Iと考えて宜しいでしょうか。	よい。
26	A-06 A-32他	土間部床・立上りのスタイロフォーム t50について、2種b程度と考えて宜しいでしょうか。	よい。
27	A-61	自動ドア防護柵（SUS FB）の表面仕上について、HL仕上と考えて宜しいでしょうか。	よい。
28	A-26	壁見切B（桧一方枠）について、浸透性保護塗装と記載されていますが、メーカー品番を御指示ください。	同等品以上は、池田コーポレーション、リボスタヤとする。
29	A-03	下記の仕上のボード面・ケイカル板の素地こしらえについて、A種（継目処理）と考えて宜しいでしょうか。 ■ 漆喰調塗装 ■ 茶根岸砂壁	よい。
30	A-16 A-39	【参考】金抜き内訳において、1FWC前室 腰壁見切が計上されていますが、WC前室に腰壁の指示が無い為、不要と考えて宜しいでしょうか。	よい。
31	A-26	【参考】金抜き内訳において、WC前室～WC1・2部に床見切Bが計上されていますが、WC1・2の扉部には敷居が図示されている為、床見切Bは該当なしと考えて宜しいでしょうか。	よい。
32	A-26	【参考】金抜き内訳において、玄関・通り土間ギャリー等で「下り壁下端見切縁」が計上されていますが、意匠図に下端見切縁は図示されておりません。不要と考えて宜しいでしょうか。	現場協議とする。

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事の入札に対する質問への回答（8月8日掲載④）

No.	図面番号	質問	回答
		（建具関係）	
33	A-28・40	復元展示室廊下1(X24/b1)に取付くWDM-2の枠について、建具表と平面詳細図で下記のように相違しています。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。 ■建具表【正】 縦枠:130×30 ■平面詳細図(4) 方立:130×48	よい。
34	A-30・52	休憩スペース縁側に取付くWRG-3～7の枠について、建具表と矩形図で下記のように相違しています。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。 ■建具表【正】 21×35 ■矩計図(2) 30×35	よい。
35	A-51	建具表WRGLについて、枠寸法が姿図と(右上)詳細図で下記のように相違しています。詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。 ■建具表 姿図備考【正】 21×35 ■建具表 詳細図 21×30	よい。
36	A-31	また、WRGLの組子(縦格子)のピッチが建具表(@60)と矩形図(@125)で相違しています。建具表(@60)を正と考えて宜しいでしょうか。	よい。
37	A-31	WRGI-1の詳細について、建具表と矩形図で下記のように相違しています。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。 建具表【正】 矩計図(3) ■ガラス フロート厚3.0 厚4 ■額縁 桧23×60 桧24×70 ■押縁 9×9 樺9×10 ■組子 5×5@17 樺5×9@17	よい。
38	A-43～	建具用金物について、建具表G-1等に「真鍮引手・真鍮丸球柵 締め」と記載がありますが、既製品と考えて宜しいでしょうか。	よい。
39	質問回答NO. 83 (7/31掲載②)	チャンバーボックスの材質は亜鉛鉄板とご回答いただきましたが、板厚をt=1.6と考えて宜しいでしょうか。	よい。
40	A-43～	G-1等に使用される『ゆらぎガラス』のメーカー品番をご指示下さい。	同等品以上は、OOKABE GLASS、昭和レトロガラスレトロンとする。
41	質問回答NO. 83 (7/31掲載②)	チャンバーボックスの断熱材についてGW25mmとご回答いただきましたが、密度は32Kg/m3と考えて宜しいでしょうか。	よい。
		（外構関係）	
42		【参考】金抜き内訳書にある下記の項目について、図面に見当たりません。付属棟と合わせて今回の工事範囲外と考えて宜しいでしょうか。 ・P66 付属棟廻り雨落し 縁石 106m ・P67 付属棟廻り雨落し 砂利敷 17m2	今回工事対象に含む。

令和7年度新宿御苑日本館御殿工事の入札に対する質問への回答（8月8日掲載④）

No.	図 面 番 号	質 問	回 答																								
43	BQ72 L-08	【参考】金抜き内訳書の72ページ 4. 造園 1) 樹木(芝張りとも)に於いて、植栽基盤整備 C種 有効土層 H=23cmの数量が234m2と記載されておりますが、植栽計画平面図の客土t230の張芝範囲を計測し数量を合計すると「26.14+65.52+106.99+43.11+86.7=328.46m2」となり234m2と相違しています。計測を正と考えて宜しいでしょうか。異なる場合はt230張芝234m2の範囲をご指示下さい。	よい。																								
44		【参考】金抜き内訳書の72ページ 4. 造園 1) 樹木(芝張りとも)に於いて、植栽基盤整備 C種 有効土層 H=23cmは土工事C種と記載されておりますが、木造特記仕様書(その1-7) 23植栽及び屋上緑化工事 22.2.2、4 樹木の植栽基盤の整備では芝、地被類はB種と相違しています。植栽基盤整備 C種 有効土層 H=23cmは土工事B種と考えて宜しいでしょうか。	よい。																								
45	L-10 質問回答No.102 (7/31掲載②)	「砂利は既存と同等材を30mm厚、見切り材は不要である」と御回答頂きましたが、既存の材料は下記のように考えて宜しいでしょうか。異なる場合は既存材料の詳細をご指示下さい。 ・ 仕上用砂利：豆砂利t30 φ5～10mmの新大磯砂利	よい。																								
46	L-13 質問回答No.103 (7/31掲載②)	詳細図-5に於いて、L型雨水桝φ400の蓋のメーカー品番及び耐荷重は質疑No.102にて御回答頂きましたL型雨水浸透桝φ450に倣い下記のように考えて宜しいでしょうか。異なる場合は蓋のメーカー品番及び耐荷重をご指示下さい。 ・ 細目 T-25荷重 メーカーは(株)コカコーポレーション	よい。																								
47	質問回答No.19 (7/31掲載②)	発生材処理の建設発生土運搬が【参考】金抜き内訳書では「4t積級土砂 DID区間無し」と「10t積級土砂 DID区間有り」とで2回移動を行っておりますが、質問回答No.19を正と考え、場外搬出 搬出距離(29km以内)のみと考えて宜しいでしょうか。	質問回答No.19を訂正する。 園内指定箇所（正門付近バックヤード）にて一時保管、その後場外への搬出の想定とする。																								
48	L-08	植栽計画平面図において、植栽工集計表の数量と計測数量でわずかに相違が御座います。計測数量を正と考えて宜しいでしょうか。 <table><tr><th></th><th>集計表</th><th>計測数量</th></tr><tr><td>・ アセビ</td><td>155株</td><td>170株</td></tr><tr><td>・ キンパイ</td><td>42株</td><td>64株</td></tr><tr><td>・ ユキヤギ</td><td>26株</td><td>29株</td></tr><tr><td>・ ヤマブキ</td><td>85株</td><td>96株</td></tr><tr><td>・ キジヨウソウ</td><td>435株</td><td>432株</td></tr><tr><td>・ シャガ</td><td>1100株</td><td>1143株</td></tr><tr><td>・ コウライハ</td><td>565m2</td><td>577m2</td></tr></table>		集計表	計測数量	・ アセビ	155株	170株	・ キンパイ	42株	64株	・ ユキヤギ	26株	29株	・ ヤマブキ	85株	96株	・ キジヨウソウ	435株	432株	・ シャガ	1100株	1143株	・ コウライハ	565m2	577m2	植栽工集計表の数量を正とする。
	集計表	計測数量																									
・ アセビ	155株	170株																									
・ キンパイ	42株	64株																									
・ ユキヤギ	26株	29株																									
・ ヤマブキ	85株	96株																									
・ キジヨウソウ	435株	432株																									
・ シャガ	1100株	1143株																									
・ コウライハ	565m2	577m2																									